

2016年 新年講演会・交流会 開催のご案内

公益社団法人日本技術士会茨城県支部
支部部長 本田 永信

日本技術士会茨城県支部は、下記により「2016年 新年講演会・交流会」を企画致しました。
多くの方のご参加をお待ちしております。

－ 記 －

1. 日 時 : 2016年1月23日(土) 12:45~18:30
2. 場 所 : ワークプラザ勝田 2F 大会議室 および1F 遊々亭
〒312-8716 茨城県ひたちなか市大字東石川 1279 番地
TEL : 029-275-8000(代)
現地案内 URL : <http://www.workplaza.or.jp/f500.htm>
3. 講演テーマ :
生活環境における地理と水に関する技術的な発展
～地理情報を活かしたシステム技術と水環境を修復するバイオエコ技術の紹介～
4. スケジュール :
 4. 1 受付 (12:45 開始)
 4. 2 開会式 (13:15~13:30)
 - (1) 本田支部長 挨拶
 - (2) 来賓 ご挨拶
 4. 3 講演会 (13:40~16:45)
 - 講演 1 (13:40~14:50)
 - (1) 演題 : 『生活に密着した地理情報技術の発展
～地理情報の黎明期から将来展開～』
 - (2) 講師 : (株)日立製作所 インフラシステム社
電機システム本部 社会制御システム設計部
技術士(情報工学, 総合技術監理) 筒井和雄氏
 - (3) 要旨 :

地理情報システム(GIS: Geographic Information System の略)は、空間情報である地理情報と関連する情報をコンピュータ上で作成・保存・利用・管理・表示・検索するシステムとして、幅広い分野に適用されている。コンピュータの発展に伴い、高い処理性能や膨大なデータの扱いが容易となり、従来の紙地図では実現できなかった高度な利用が可能となっている。身近な代表例として、車に搭載し目的地への案内をするカーナビゲーションがあり、日常生活に密着したものである。また、GISはビッグデータ解析結果を可視化してわかりやすく表現する手段として期待されている。

本講演では、コンピュータの革新的な進歩によりここまで普及してきた地理情報システムが、どのような開発の経緯を辿ってきたのか、克服してきた技術

的な課題とは何か、どのような技術が組み合わさっているのか、また、さまざまな分野に適用されてきた事例の中から水環境等の社会インフラで活躍している事例を中心に講師の経験を踏まえて紹介する。

休憩（14：50～15：00）

講演 2（15：00～16：45）

(1) 演題：『バイオエコ技術を活用した流域水環境修復とその新たな展開』

(2) 講師：国立研究開発法人 国立環境研究所環境修復再生技術研究室

室長 徐 開欽氏

(3) 要旨：

21 世紀は水の世紀といわれており、飲料水をはじめとする健全な水資源の確保が重要な課題である。しかし、開発途上国等においては、人間活動、産業活動の活発化に伴い水質汚濁が累進的に加速しており、危機的状況にある。特に、毒性物質ミクロキスチンを産生する有毒アオコが湖沼・ダム等において顕在化し、水資源の安全性確保が難しくなっている。流域の水環境修復を考える場合、その国情や地域特性に適した技術開発が重要であり、日本の技術をそのまま持ち込んでもうまくいかない場合が多い。国立環境研究所では 2001 年度にバイオ・エコエンジニアリング研究施設を創設し、開発途上国に適応可能な水環境修復技術の研究開発・評価等を行っている。

本講演では、世界の水環境問題、有毒藻類（アオコ）発生状況を踏まえ、バイオエコ技術を活用した水環境の修復、開発途上国への水環境研究協力事例と国際展開等について紹介する。

4. 4 交流会（17：00～18：30）

5. 参加方法：

5. 1 申込先：

日本技術士会 HP 会員コーナーの「CPD 行事予定」（会員 PW が必要）、
又は、下記 E-Mail 又は、FAX にてお申し込み下さい。

E-Mail : ibaraki@engineer.or.jp

FAX : 029-265-5558

5. 2 申込期限：2016 年 1 月 12 日（火）

5. 3 参加費：

(1) 講演会：技術士会会員：1,000 円、非会員：2,000 円、一般：1,000 円

(2) 交流会：4,000 円

※参加費は 1 月 19 日（火）迄に、下記「ゆうちょ銀行」へお振込ください。

●お振込先：

a. 郵貯間送金の場合：記号：10690、番号：22896131

シャ) ニホンギジュツシカイ イバラキケンシブ

b. 他行から送金の場合：店名：068、店番：068、口座番号：2289613

シャ) ニホンギジュツシカイ イバラキケンシブ

6. お問い合わせ先

日本技術士会茨城県支部事務局

ひたちなか市新光町 38 (株)ひたちなかテクノセンター内

TEL : 029-219-5154 FAX : 029-265-5558

E-Mail : ibaraki@engineer.or.jp

以上